

学位被授与者氏名	成 方正 (じょう ほうせい)
論文題目	子ども食堂における学生ボランティアの意識変容の考察： 子どもの貧困観と子どもとの関わりに着目して
論文審査結果の要旨	<p>本修士論文について、主査・副査からは以下のような評価・コメントが出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全般部分として、よくまとめることが出来ていた。留学生として、本当によくがんばって書くことが出来ていたと言える。 ●貧困論を整理した箇所でラウンダリー等も取り上げられているが、それであれば日本の貧困研究者として江口英一にもふれても良かったのでは無いか。 ●子ども食堂で見られる子どもの貧困について、ボランティアとして参加している学生がどのように受けとめ、そして意識が変化していったのか、つながりが乏しいように感じられた。 ●考察の所について、意識変容が子どもへの学生の関わり方にどのように変化を促したのか、行動変容をもたらす契機になっていたという論文としてのまとめ方ができていれば、本修士論文の取り組みがもっと光ってくるのではないか。 ●修士論文としてまとめるにあたって、意識することから行動変容へとつながっていくという流れが明らかに見られるという整理の仕方をすると良いのではないか。そうすることで研究として取り組んだことの意義がもっとはっきりと打ち出されるような印象を持った。 <p>2023年2月21日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館3-218教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士（人間関係学）として十分な内容であると判定した。</p>